
「時間をもって空間に換える」

——階層分化の中国政治の発展に対する推進作用——

朱光磊

〈南開大学〉

1. 問題提起

(1) 「時間をもって空間に換える」の意味

中国では広範囲かつ強固な階層の分化と再編がすでに20年余り持続してきた。そして多くの兆しが21世紀初頭、すなわち2020年以前まで、これまでの過程がしっかり継続されていくことを表している。この過程の中で社会構成員に対しておこなわれる全方位的調整を経て、中国の経済的転換とともに漸進する社会の全面改革を通じ民主化と法制化の過程が進められ、支えるに足る堅実な社会的基礎と運用し得る巨大な空間を勝ち取ることができよう。

「時間をもって空間に換える」とは、30～40年間にわたる社会階層の分化と再編によって、中国の社会構成の多方面にわたる実質的变化を得ることを指す。つまり、社会と政治の発展に必要な社会的な力、とりわけ強大な労働者階級と知識人階層が漸進的に成長するのを待って、また膨大な農民の集合体およびその他の低所得者の集合体が漸次分解していくのを待って、ようやく社会と政治の安定を長期間保ちつつ政治体制改革を有効に進めるのに必要な運用空間が得られるということを示している。

(2) 「時間をもって空間に換える」と中国の改革の基本的特徴

表面的には中国の制度改革の速度は遅く、時間を浪費しているように見える。しかし実際は、中国の制度改革は着実かつ周到である。この時期、中国は全面的かつ根本的に自己の基本的な社会構造、すなわち資源配置の方法、経済運用モデルと十数億人の社会構成を改造したが、当然政治制度の面での変化は相対的に限られたものだった。しかし、中国の経済方面と社会構成員の構成方面における根本的な変化は、社会政治構造の秩序ある変革のために必要な基礎を築き、民主と法治社会の建設に必要な基本的な社会の力を創りあげた。

我々は切迫して改革を呼びかけると同時に、改革を順調に進めるにはそれに相応しい社会的基礎が必要であり、相応しい社会の力がなければ、改革を強行できないわけではないものの、そのように無理やり始めた改革は失敗と奇形的発展を免れず、また経済発展にもなう問題の解決と民生の安定維持は難しいことに注意しなければならない。民主が無いのは好ましいことではないが、しかし民主の奇形的発展もまた好ましくない。民主の奇形

的發展によって経済も立ち行かず、社会が混乱に陥ることはさらに好ましくない。

(3) 社会構成員の構成調整がもつ経済発展と政治発展に対する媒介作用

経済は政治の基本であるという判断は正確である。人類の歴史を紐解くと、経済発展の最も速い場所が一般的に政治発展の中心であり、政治科学の最も発達した場所であったことがわかる。しかし、次の二点について注意しなければならない。第一に、経済発展と政治発展の関係は対数表式の関係ではなく、絶対的な同調関係でもない。政治発展は時として過去を超え、時として滞り、また時として突如変化するものである。第二に、経済発展の政治発展への影響と作用には一定の媒介となるものが必要であり、その最も重要なものが社会構成員の構成変化である。経済発展によってすぐに政治が変化するわけではないが、それはかならず、すぐに社会構成員の構成を変化させる。社会構成員の構成変化は必然的に社会の利益関係の調整と社会関係の変化をもたらし、最後には社会の政治イデオロギーを少しずつ変化させ、政治体制の改革に至るのである。政治の力が社会の経済発展を推し進め、特に経済様式の多様化を推し進める時、彼らが経済変化による社会構成員の構成への直接的な影響についてどれだけ意識しているか、またこの変化の社会政治構造および政治発展全体への間接的な影響をどれだけ意識しているかにかかわらず、これらの影響はすべて発生するのである。

2. 六項目の基本的分析

(1) 農民階級の分化は労働者階級と各種「新階層」の発展空間を広げるとともに、数千年来形成されてきた非民主的、非法制的要素からなる生存空間と社会的基礎を根本から縮小した。

農民の大分化は20世紀末中国で起きた最も偉大な歴史的イベントであった。これは人類史上最大かつ比較的保守的な社会集団がついに瓦解したことを意味していた。この変化によってもたらされた政治への影響は計り知れない。1979年から2001年にかけて、中国の第一次産業従事者の総就業人口に占める割合は20%以上減少したが、これは有史以来最大規模の農業から工業・サービス業への労働力大移動であった¹。そのうち1997年が転換の年であった。この一年で中国の第一次産業就業人口は総就業人口数の割合で初めて49.9%まで下降した²。現在、農民はすでに異なる社会階層に分化しており、農業労働者、農村知識人、農村管理者などの階層が農村社会構造の主力となっている。もし村民自治を民主と法制建設の新たな「成長点」・「突破口」と呼びうるとすれば、農民階級の全体的な分化は中国の政治発展に対し、基本的な価値と深遠な歴史的意義を有している。

(2) 人類史上最も巨大な労働者階級が中国に出現し、現代中国が現代的な民主主義と法制社会へと向かうための根本的な物質基礎と基本的な社会基礎を形成した。

工業化の推進と市場化レベルの引き上げにともなって、中国の労働者階級は統合を主とする時期に突入した。本世紀半ばまでに、中国では3億人以上の労働者集団が出現することが予測される。世界最大の労働者階級を有することは、中国の政治民主化過程を加速す

る重要な物質的保障となる。

現在、労働者階級の統合の趨勢は主に次のいくつかの点に表されている。①異なる階層の労働者間の境界の不明確化。②異なる階層の労働者間における利益要求の同一化傾向。③異なる階層の労働者間における階層帰属意識の同一化傾向。④郷鎮企業の従業員と農民臨時就労者の加入は、労働者階級の隊列に途切れることのない予備軍を得させることになった。1997年までに郷鎮企業の従業員数は1.3億人を超え³、主に都市部住民で構成される伝統的意味での産業労働者と比べてもさらに多い。都市部と工場地帯、鉱山において就業している農民臨時就労者数は2002年ですでに9400万人を超えている⁴。これからの5年間のうちに、農村労働力が都市で働くことによって新たな「ピーク」が訪れるであろう。

(3) 知識人階層の持続的拡大と官僚階層の若返り、知識化の過程において、専制制度が存在し得る主体的条件が弱められ、民主と法治国家に必要とされる効率的な官僚制度と相対的に独立した知識層を樹立する機会が増加した。

90年代半ば以降、「脳体倒挂」（頭脳労働と肉体労働の報酬の逆転）現象が基本的になくなり、知識人の「社会的地位の非一貫化」⁵の状況は改善された。特に情報産業を筆頭とする科学技術産業の猛烈な発展、および教育、文化と医薬衛生事業の発展にともない、知識人層はさらに拡大し、独立性も少しずつ増強することができた。

教育レベルの引き上げにともない、特に政府機構改革の深化、公務員制度の完成、官僚階層の「四化」〔訳注：幹部の革命化、若返り、知識化、専門化〕過程は実現に向けて加速している。中国共産党第16回大会前後の調整を経て、31省の党委員会書記の平均年齢は57.9歳である。「国家公務員公募条例」の規定では、年齢35歳以下で「大専」〔大学と専門学校〕以上の学歴を有する公民が省レベル以上の政府機関を受験することができると規定している。2001年、国家機関、政党機関と社会団体で働く公民はおよそ1083.8万人で、社会の5分の1強の知識人が集まっている⁶。現在、彼らは基本的に現代政治と法律理念を受け入れる主体的条件を備えている。

(4) 中所得者層の拡大は、社会の激動を受け入れる空間と漸進的制度改革を支える社会勢力を拡大した。

住民の所得水準の向上にともない、中所得者層は速やかに拡大している。このことは市場と知識の要素の社会分化に及ぼす影響が速やかに増大していることを示している。2002年6月末現在、都市の家庭資産の一戸当たり平均値は22.83万元で、15～30万元が中所得者層区分の基準とすると、その規模はおよそ2億人を超え、総人口の約18%を占めている。企業家、専門家、請負商、中高級企業管理職、中高級政府職員、および「文化个体戸」〔書籍雑誌販売など文化活動に従事する個人経営者〕、教師、芸能人の一部などが中所得者層を構成する主要な階層である。彼らは一般的に良好な教育を受け、比較的高い文化的知識と生産技能を有している。彼らは市場競争の原則を認識し、個人の価値を実現することを追及している。彼らの政治的態度は温和で、民主的、合法的な方法で政治の発展に参加、推進する傾向にあり、社会のさまざまな勢力の中でバランスをとる重要な力である。彼ら

の多くは長期間にわたる教育を受け、視野も比較的広い。彼らの多元的な考え方とさまざまな変化に対する適応力は社会の安定に有利である。

(5) 「市民社会」と互いに関連し合うさまざまな階層の出現は、社会・政治生活の「柔軟」な空間を増大させた。

現在、国家と社会はすでに重合するような関係にはなく、「単位」〔職場〕社会の制御機能は大きく下降し、社会構成員の自主性は相対的に増強された。政府が社会的資源の支配権を積極的に譲渡する中で、「市民社会」と互いに関連し合う階層が次々と出現した。「復新階層」〔復活した新階層：旧中国にすでに存在したが、建国後の政治運動の中で消滅し、改革開放の中で再び出現した階層。個人労働者や私営企業家などを指す〕の出現であろうと、あるいは新興階層の発展であろうと、彼らはすでに伝統的農業文明と初期工業文明における敵対階級間の「二元対立」、および平板な社会生活を抜け出し、経済様式の多様化した基礎に打ち立てられ、また階級関係と階層関係が互いに交差し、社会関係が複雑化、多様化する段階に進み、社会は生命力と活力に満たされている。

現代中国の萌芽的な「市民社会」は速やかに拡大し、関連する階層の総人口中の比率は絶え間なく上昇している。この10年来、個人経営および私営企業の就業人口だけで3倍になり、1991年の2491.5万人から2001年の7474.1万人に激増した⁷。現在、登録されている私営企業への投資者はすでに400万人以上に達し、統計にとりにくい「戴紅帽子」〔赤い帽子をかぶったもの〕（偽公有制）の企業主と事実上私営企業の規模に達している少数の大規模個人経営主を加えると、中国における現在の私営企業主階層全体の実際の規模はすでにかんがりのものである。その他に、外資系企業の中国人従業員、「文化个体戸」の従業員、請負商などについても、事実上政府の直接的な統制外にある。たとえ公有制「単位」の人員でも、「単位」の社会制御機能は多かれ少なかれ弱まっている。「新階層」の出現は、中国の社会生活の「柔軟」な空間を増大させたのである。

(6) 「両生人」の長期的存在は、一定の期間、ある種の社会矛盾を和らげ、ある種の社会衝突を抑制するために、理想的ではないが必要とされる社会条件を創造した。

「両生人」とは事実上すでに新階層に参加したが、完全には元の階級・階層との関係を断ち切れない人びとを指している。「両生人」現象は改革開放の随伴物として出現したもので、同時に改革開放の深化とともに次第に消滅していった。国家の法制建設の発展にともない、市場経済下における各種社会管理制度が次第に完成に向かっていくので、この種の大っぴらに体制内と体制外をまたぐような集団が存在する状況は崩壊しつつある。しかし、事物は往々にして両面性を持ち、中国における特定の社会発展の条件下においては、「両生人」集団の形成はその時代の特徴に規定されて、ある程度、人々の改革に参加しようとする積極性、改革によって及ぼす社会関係の変化が人々に与える圧力などを緩やかにする作用を発揮したのである。

3. 余 論

(1) 政治体制改革の歩みは適度に加速することができる。

世紀の変わり目の階層分化の実際の進展は予想よりも早かった。そのため、我々は体制改革の歩みを加速せよと主張することができる。20数年来の改革開放によって、次の時代の政治発展に必要とされる経済発展レベルという前提を一応解決した。また20数年来の社会階層分化と再編によって、次の時代の政治発展に必要とされる参加主体と指導者の形成問題がひとまず解決された。多くは20年前には不可能だったことであったが、現在は確実に可能になったのである。

現在、状況は確実に変化している。たとえば、中国共産党第16回大会において改正された「中国共産党章程」の最初の文は、すでに「中国共産党は中国労働者階級の先鋒隊であり、同時に中国人民と中華民族の先鋒隊でもある」と調整され、また一連の「党内民主」の強化と改善に関する基本的考え方と具体的措置が目下、鋭意検討されているところである⁸。さらには、裁判官の職業化を求める声はすでに政府が基本的に承認しており、また人民代表大会の政治的行為のレベルも少しずつ上がっている。

(2) 「時間をもって空間に換える」の原則は継続していくべきである。

ただし、「時間をもって空間に換える」の原則と順序は乱すべきはない。順序どおり漸進する考え方は依然正しいことであり、「時間をもって空間に換える」の原則は依然として特殊な意義を有し、長期的に堅持しなければならない。中国の膨大な人口の重み、比較的低い経済・文化条件、大きい東西・南北格差、特殊な外圧の存在のために、中国は社会構成の調整をつうじて社会と政治の発展を推進することが必要である。「石をさぐりながら川を渡る」(模索しながら進む)改革構想と漸進的な社会経済政治体制改革によって、中国は社会構成の調整をつうじた社会政治発展が可能になるのである。

1 「我国農業従業人員比重下降20%」『今日信息報』2002年10月9日。

2 『中国統計年鑑』(2001)、中国統計出版社、2001年9月、北京、107頁。

3 侯波(1998):「郷鎮企業職工:一支新興的産業大軍」『回顧与展望』、天津人民出版社、天津、1998年。

4 中国新聞網電:「去年中国農村労働力外出就業逾9400万人」、2003年1月16日。

5 朱光磊等(1997):『当代中国社会各階層分析』、天津人民出版社、天津、1997年、34-35頁。

6 『中国統計年鑑』(2002)、中国統計出版社、2002年9月、北京、160頁。

7 『中国統計年鑑』(2002)、中国統計出版社、2002年9月、北京、140頁。

8 林尚立(2002)、『党内民主:中国共産党的理論与实践』、上海社会科学院出版社、上海を参照。

(原文は中国語。邦訳 和田英穂)